



赤ちゃん授業通信



鴨島第一中学校 2024年10月10日・11日



命の授業

生まれてきてくれて
ありがとう!



鴨島第一中学校、1日目生徒59名と親子15組、2日目生徒57名と親子18組が参加し、赤ちゃん授業を開催しました！
徳島県助産師会の川西節子先生より“命の授業”を聞いた後、体験コーナーでは、妊婦の身体の変化や重さを体感したり、赤ちゃん人形を使って抱っこ練習をしました。
実際に赤ちゃんに触れ合う交流では、命のぬくもりを肌で感じることができました。



生徒からの質問

- ・子育てをされていてどんな時に幸せだと思いますか
- ・子育てをする時に心がけていることはありますか
- ・妊娠中の生活はどのようなことが大変ですか
- ・子育てにかかるお金って大体いくらぐらいですか
- ・どういう分担で子育てをしていますか
- ・子育てで大変なことは何ですか
- ・何か不安になることはありますか



体験コーナー

妊婦ジャケットをつけたり、赤ちゃん人形を抱っこしたり
胎児模型や離乳食体験をしました！

妊婦ジャケット



しゃがむのも
大変!



お、おそい...



離乳食体験



ミルクって
こんな味なんだあ



胎児模型



ミルク
飲もうね～



おむつ替えにも
チャレンジ!



ふれあい交流

グループに分かれて、生後2ヶ月～12か月の赤ちゃんに触れ合ったり、抱っこをさせてもらいました。
また、妊娠中の貴重なエコー写真や、生まれた時や子育てのお話をお母さんやお父さんから直接聞くことができました。

握手しよ～



離乳食
おいしい?



赤ちゃんって
あったかい!



お兄ちゃんが
絵本読んで
あげるね!



エコー写真を
見せてもらったよ





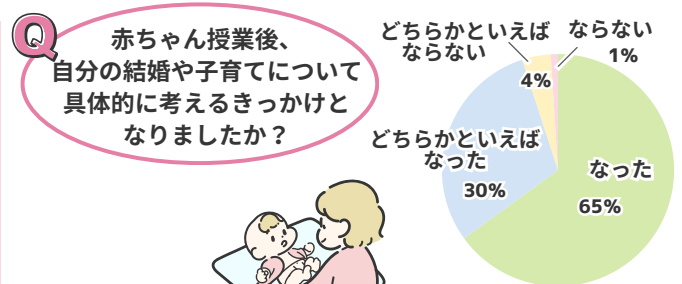
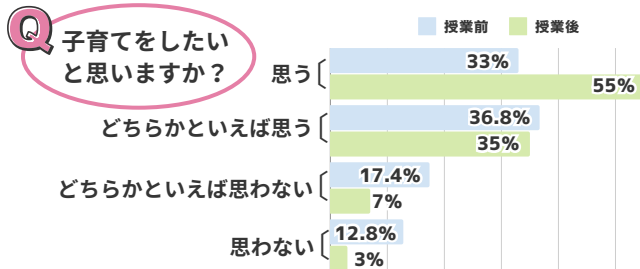
生徒からの感想

- ・子育ては自分の時間が減るし大変だと思っていたけど、触れ合ったり、話を聞いていくうちに、やりがいがあるし、楽しいことだと思い、自由な時間が減るのではなく子どもと向き合える大切な時間なんだと気づいた。
- ・最初は小さい子どもが苦手だったが、この授業を受けて小さい子どもが好きになった。
- ・妊婦体験が思っていた以上に重く大変でした。寝返りをうったり、下の物を拾ったり、一つ一つの行動がとても辛く感じた。
- ・知らないことなどをたくさん知る良い機会になった。
- ・赤ちゃんを抱っこしてみても想像以上に重かったが、笑顔が可愛く癒された。
- ・自分の親に感謝しないといけないと思った。
- ・赤ちゃんはまだ喋ったりできないから、気持ちを理解してあげようとするのが大切だと思った。
- ・子育ては楽しいことだと思っていたが、楽しいこと以上に大変なことがあると知った。
- ・赤ちゃんに触れ合う機会はあまりなかったので、すごく楽しかったし癒された。また妊婦さんが困っていたら助けてあげたい。
- ・赤ちゃんを抱っこさせてもらった時、泣かれてしまって焦った。お父さんお母さんの話を聞いて、本当に大切な存在だということが伝わってきた。
- ・赤ちゃんはとてもあたたかくて、やわらかくて、可愛かった。
- ・助産師の仕事の大切さや、赤ちゃんとお母さんの凄さを改めて知ることができた。



Q&A

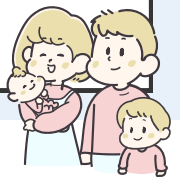
生徒アンケート（授業前と授業後にアンケートを実施しました）



パパママからの感想



- ・赤ちゃん人形で抱っこの体験後だったので、安心して赤ちゃんを抱っこしてもらえた。
- ・生徒のキラキラした目を見て、いつも見ている我が子とはまた違う意味で、子どもはいいなと思った。これから育っていくのが楽しみ。
- ・積極的に子どもに関わろうとおもちゃなどで気をひいてくれて嬉しかった。
- ・生徒が「可愛い」や「大変ですね」と言ってくれたことが嬉しかった。将来のある子どもたちの役に立てたのかと思うと、参加できて良かった。
- ・小さい赤ちゃんに対しても工夫しておもちゃで遊んであげようと頑張っていたのが印象的だった。抱っこした時に生徒が笑顔になってくれて、赤ちゃんの温かさや重さを実感してくれたかなと思う。
- ・自分の出産や子育てを振り返る機会にもなり、とても良かった。



運営スタッフより

- ・生徒が熱心に話を聞いて抱っこ体験も手助けなく上手に出来ていて感心した。お父さん、お母さんが積極的に生徒に話してくださったり抱っこさせてくださったりしてとても温かい関係ができていたように思う。
- ・こんなにみんなの笑顔でいっぱいになる赤ちゃんパワーはすごい！と感動した。赤ちゃんに触れ合う機会が少なくなっている現代、このような機会がとてもありがたく、もっとたくさんあればいいと感じた。